

令和5年度第1回大曲地域協議会会議録

令和5年5月18日

大曲地域協議会

令和5年度第1回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■委嘱状交付	1
■企画部長あいさつ	2
■協議	
(1) 会長・副会長の選任	3
(2) 会議録署名委員の指名	4
(3) 大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員の推薦	4
■説明	
(1) 地域協議会委員の役割等について	5
(2) これまでの協議内容について	6
(3) 地域枠予算について	7
■その他	9
(1) 若者チャレンジ応援プロジェクトについて	9
■閉会	9
■署名	9

■日 時：令和5年5月18日（木）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：14名

鎌田 俊、荒屋鋪 栄明、後藤 仁美、根田 朋子、深谷 成男、
打川 元喜、佐藤 芳紀、佐藤 毅、塚田 兼一、戸嶋 真紀子、
生田目 マキ子、細井 陽子、松塚 孝治、長屋 奈恵子

■出席職員：6名

伊藤 公晃（企画部長） 山信田 恭弘（地域活動応援課長）
高橋 靖弘（地域活動応援課参事） 遠藤 彩希（地域活動応援課主幹）
進藤 尚人（地域活動応援課主任） 佐々木 心都（地域活動応援課主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 企画部長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 会長・副会長の選任
 - (2) 会議録署名委員の指名
 - (3) 大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員の推薦
- 5 説 明
 - (1) 地域協議会委員の役割等について
 - (2) これまでの協議内容について
 - (3) 地域枠予算について
- 6 その他
 - 1) 若者チャレンジ応援プロジェクトについて
- 7 閉 会

（午後 6時 開会）

○事務局(高橋参事)

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
定刻になりましたので、ただ今から第1回大曲地域協議会を始めさせていただきます。
会を始めます前に、委嘱状の交付をさせていただきます。
恐れ入りますが、お名前を読み上げましたら、その場でご起立願います。

【企画部長が委嘱状交付】

○事務局(高橋参事)

ここで、伊藤企画部長がごあいさつ申し上げます。

○伊藤企画部長（以下、企画部長と表記）

本日は、お忙しい中、令和5年度第1回目の大曲地域協議会にご出席いただきありがとうございます。

只今、この4月から地域協議会委員をお引き受けいただいた皆様へ委嘱状を交付させていただきました。8つの地域で合わせて112名、大曲地域では14名の方々にお引き受けいただき、あらためて御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、地域協議会は、平成17年の大仙市誕生と同時に旧市町村を単位に設置されました。この協議会は、それぞれの地域の特性をいかしたまちづくりを実現させるため、各地域の声を集約し、その声を市政に反映させていくことを役割としております。

これまで市では、平成28年度から各地域がそれぞれの特色を活かした「地域の魅力再発見事業」を展開し、市民との協働による地域づくりの推進と、地域コミュニティの活性化を図っており、令和3年度からは、地域づくりに向けた取り組みをさらに加速するため、地域拠点を活用した活性化をテーマに、地域が一体となって取り組む彩色千輪プロジェクト事業を実施いたしております。

ここ大曲では、拠点施設を「はなび・アム」と定め、そこを中心として周遊を促し交流人口の拡大と賑わい創出に取り組んでいるところでございます。更には花火通り商店街等周辺への経済的効果も期待しているところでございます。

皆様からは、様々な意見を頂戴しながら、この取り組みを進めていきたいと考えておりますので、活発な会議になることを願ひまして、地域作りの一役を担っていただきたいと思っております。

結びになりますけれども、今後とも地域が抱える課題等について皆様と共に取り組み、よりよい市政に繋げていきたいと思っておりますので、何卒ご協力お願い申し上げます。簡単でございますが私からの挨拶とさせていただきます。

○事務局(高橋参事)

続きまして、新しい年度が始まりましたので職員をご紹介します。

○事務局(山信田課長)

私の方から本地域協議会の事務局を担当する職員を紹介させていただきます。

【地域活動応援課職員を紹介】

○事務局(高橋参事)

それでは会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

- ・次第
- ・委員名簿

- ・配席図
- ・資料No.1 大仙市地域公共交通活性化再生協議会設置要綱
- ・資料No.2 大仙市地域協議会委員手引き
- ・資料No.3 「はなび・アム」を拠点とした地域活性化事業（全体構想及び事業計画）
- ・資料No.4 地域課題「地域住民の地域活動への参加」に係る提言書
- ・資料No.5 地域枠予算の概要
- ・資料No.6 令和4年度地域枠予算活用事業一覧

以上でございます。お手元に無い場合はお知らせ下さい。

それでは、会議をはじめます。

委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第3項の規定により、会議は成立していることをご報告いたします。

それでは、議題に入ります。

進行につきましては、伊藤企画部長が行います。

○企画部長

暫時、進行役を務めさせていただきます。

それでは、議題1の会長・副会長の選任についてであります。

会長及び副会長につきましては、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第6条の規定により、委員の互選によって定めることとなっております。

互選の方法について、どのように取り計らったら良いか、お伺いします。いかがいたしましょうか。

○松塚孝治委員

事務局一任。

○企画部長

事務局一任という声がありましたけれども、皆様よろしいでしょうか。

【異議なしの声】

○企画部長

事務局から、事務局案をお願いいたします。

○事務局(山信田課長)

事務局案ということですので私からご提案させていただきます。

事務局といたしましては、鎌田俊委員に当協議会の会長を、戸嶋真紀子委員に副会長をお願いしてはどうかと思います。よろしくをお願いいたします。

○企画部長

ただいま事務局の方から案を説明させていただきました。これについて皆様の方からご意見等ございませんでしょうか。

【異議なしの声】

ありがとうございます。異議なしの声と拍手がありましたので、事務局案の通り、会長に鎌田俊委員、副会長に戸嶋真紀子委員とすることに決定いたしてもよろしいでしょうか。

そうすそうしますと大曲地域協議会の会長は鎌田俊委員、副会長に戸嶋真紀子委員と決定させていただきます。

会長が決まりましたので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定によりまして、ここからの進行は、鎌田俊会長にお願いします。

○鎌田俊会長（以下、会長と表記）

皆さんこんばんは。

この3年間振り返ってみますと、コロナに始まってコロナに終わったような3年間でした。この間、協議会は中止や延期もあったんですけども、皆さんが一生懸命やってくくださったおかげで、それぞれの地域の課題、それから共通の課題っていうものも確認できましたし、いろいろな大きなテーマにたどり着いたということも事実です。その中の一部が大仙市の今年度の予算に反映された部分もございますので意義ある3年間だったと感じています。

これから新たなメンバーと一緒にいろいろな課題に取り組んでいくことになると思いますが、皆様方の活発なご意見を期待しております。

地域活動応援課の皆様と一緒に、実りある3年にしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、会議の方を進めて参ります。

議題の2、会議録署名委員の指名になります。

会議録署名委員は、大曲地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。

会議録は事務局で作成いたします。次回の地域協議会の開催に合わせて、指名された2名の委員の方に内容をご確認いただき、署名していただきますので、よろしく申し上げます。

本日の会議録署名委員は、荒屋鋪栄明委員、佐藤毅委員にお願いします。

次に、議題の3に移ります。

大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員の推薦になります。事務局より説明をお願いします。

○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま、事務局から説明がありました。
それでは、推薦についてどのように取り計らったら良いかお伺いをいたします。ご意見
ございませんか。

○松塚孝治委員

事務局案があればお願いします。

○会長

事務局案の声がありましたので事務局の方から案をお願いいたします。

○事務局(山信田課長)

事務局案ということですので、私からご提案をさせていただきます。
事務局といたしましては内川元喜委員を推薦したいと思っておりますがいかがでしょうか。よろ
しくお願いします。

○会長

事務局案によりますと、打川元喜委員を推薦したいということではありますが、只今
の案につきましてご意見などございませんか。

【意見・質問なし】

○会長

ご意見がないようですので、採決をします。
大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員に、打川元喜委員を推薦することでご異
議ございませんか。

【異議なしの声】

○会長

ご異議なしと認めます。よって、大仙市地域公共交通活性化再生協議会委員に打
川元喜委員を推薦することで決定いたしました。

以上で、本日提案された議題については終了となります。

次に、次第5の説明に入ります。

1) 地域協議会委員の役割等について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

○会長

只今、事務局より説明がありました。

皆さんから、この場で確認しておきたいことなどございませんか。

【特になし】

○会長

次に、2) これまでの協議内容について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

○会長

只今、事務局より説明がありました。

皆さんから、ご質問等ございませんか。

○会長

提言書の中で、「地区コミュニティ会議同士で意見交換する機会を創出する」というのは、自発的にコミュニティ会員同士がやりとりするんですか。それとも間に、地域活動応援課の方が入るんでしょうか。

○事務局

事務局の方で間に入って調整もしたりできますし、もちろん地区コミュニティ会議同士が直接やりとりをして、そういった機会を創出するといったものも可能だと思います。いずれにせよ市もお手伝いをさせていただきたいと思っております。

○後藤仁美委員

クレヨンしんちゃんコラボ事業なんですけど、これって割と簡単にコラボできるんですか。

○事務局

いまは、そんなに難しくありません。

この事業は、秋田県の事業として取り組まれているものですので、県の事業と連携して、大仙市が何かできないかというところを検討していきたいと考えています。

○戸嶋真紀子委員

地区コミュニティ会議同士の意見交換の際に、このまちナビカードについて意見交換をして、そこで聞いたことを反映させていけたらいいと思う。

積極的に各地のいいところとか、各地域から皆さんいらっしゃると思うんで、その地域の何かの分野に詳しい人と積極的に交流して客観的なところから、それ面白いねっていうこと

が発見できたらいいと思う。

それをこのまちナビカードに盛り込んでいけたらいいなと思いました。

○事務局

そういった形で交流が生まれて色々な意見交換がされると、いろんなアイデアですとか、そういったものが出てくるかと思います。

そういったものをまちナビカード設置事業に反映して生かしていければと思っております。

まずは先に地区コミュニティ会議同士の交流というのを促していきたいと思っております。

○長屋奈恵子委員

まちナビカード事業ですけれども、これは、はなび・アム周辺でのにぎわいをつくるっていうお話ですよ。

商店街の方でも、いろんな店とコラボしてお互いを紹介し合う事業の話があります。今日もちょっと集まりあってその話をします。9月から本格的に動くんですけれども、それもこの事業と一緒に絡めることはできますか。

○事務局

まちナビカードの進め方については、まず一定のルールは作ろうとしてるんですけれども、決まったものはまだありません。連携して取り組めるものがあれば一緒に進めて行きたいと思っております。いまのお話につきましては、ご提案として受け止めてこの後相談をさせていただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○会長

他にございますか。

次に進みます。3) 地域枠予算について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(遠藤主幹)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま、事務局より説明がありました。

皆さんから、ご質問等ございませんか。

○深谷成男委員

市民主導型のことについておっしゃったのちちょっと確認したいんですが、効率的な運用を図るために見直しを図っていくというお話だったと思うんですけれども、これは市民主導型の事業に対しての話ですか。

○事務局

地域枠予算全体的なところでの見直しを考えております。内容については制度開始から17年目を迎え、各地域、支所間で運用の仕方に差が出始めてきておりますので、制度の公平性を保ちより効果的に活用いただけるよう、運用の統一を図る上で見直しを検討していきたいと考えております。

○戸嶋真紀子委員

大曲地域に限らず地域枠予算でやるイベントは、広報に掲載してますか。掲載するには、実施団体が掲載の申請をしなければならないのでしょうか。

○事務局

広報の記事については掲載の依頼があったものを載せていると聞いておりますので、依頼がなければ掲載しないと思います。

○戸嶋真紀子委員

連携を図って地域枠予算の活用事業を広報でPRすることで、地域の人も、これまで参加しなかった人も参加するかもしれない。いまは内輪の発表会みたいになっていて、もっといろんな人が見に来てくれたらいいのと思います。その地域でずっと繰り返しやって来られたものは、地域の人たちには認知されてると思うんですけど他には知られてない。広報などで事業をPRすることでイベントなどに行ってみようかなってということもあるかもしれないので、そういう横の繋がりがあってもいいと思います。

○事務局

ご提案いただいた意見につきまして、より効果的な広報が図られるよう前向きに検討したいと思います。

○後藤仁美委員

事業申請の方法なんですけど、市民協働型の場合は、行政から市民の方に声掛けするような形なのか、市民から行政と一緒にこういうことをやりたいっていうお話があるのか、どちらでも大丈夫なのか教えていただきたい。

○事務局

大曲地域に関してはまだあまり活用事例はないんですが、過去のものとしては地域の課題があって、こういったことを出来ないかというような、市民の方からの申請があって取り組んだものがございました。ただ他の地域については、いろんな取り組みの中で意見が一致してそのまま市民協働型の事業に発展したものもあろうかと思っておりますので、必ずしもどちらかがということではないかと思っております。

○会長

他にございませんか。

なければ、これで次第5の説明を終了します。

次に、次第6のその他に移ります。1) 若者チャレンジ応援プロジェクトについてですが、本日、説明のため、市の若者チャレンジ推進室から新田雅昭室長が出席されておりますので、この内容についてご説明をお願いいたします。

○新田室長

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま、若者チャレンジ推進室より説明がありました。

皆さんから、ご質問等ございませんか。

【特になし】

無ければ、1) 若者チャレンジプロジェクトについてを終わります。
事務局の方から、何かございませんか。

○事務局

次回、第2回地域協議会の開催予定でございますけれども、7月ごろを開催予定としております。

会議の内容と進め方等につきましてはこの後、会長さんともご相談しながら進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長

全体を通して見ない委員の皆さんから何かございましたらお願いいたします。

無いようですので、次第6その他を終了いたします。

以上をもちまして本日の会議を終了いたします。

皆様お疲れ様でした。

(午後 7時30分 閉会)

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

